

(様式2)新規評価シート

事業種類		治山・砂防		事業名		山地治山			
市町村名		上田市		ふりがな 箇所名	わご 和子	事業年度 (完了年度は見込み)	H26 年度～	H28 年度	
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	山腹工 0.47ha 落石固定工 4,700m ²			195,000	国庫	その他	県債	一般財源
	H26年度	山腹工 0.16ha 落石固定工 570m ²			20,000	10,000		9,000	1,000
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)
	必要性	保全対象人家	■ 10戸以上	□ 1～9戸	□ 0戸		25	0.2	14
		保全対象公共施設	■ 2箇所以上	□ 1箇所	□ なし		25		
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	■ 重要施設	□ 一般施設	□ なし		10		
		事業目的(保安林・林業用施設)	□ 「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	□ 保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	■ 保安林率30%未満		10		
	小 計						70		
	重要性	過去の災害履歴	■ 過去5年に1回以上	□ 災害履歴地	□ なし		30	0.1	10
		交通遮断による地域経済などへの影響	■ 大	□ 中	□ 小		30		
		防災計画上の位置づけ	■ あり	□ なし			40		
		小 計					100		
	効率性	費用対効果(B/C)	■ B/C2.0以上	□ B/C1.0以上2.0未満	□ B/C1.0未満		40	0.1	8
		早期発現度	□ 3年未満	■ 3年以上5年未満	□ 5年以上		25		
		流域の総合調整	■ あり	□ なし			20		
		小 計					85		
	緊急性	最寄の保全対象までの距離	■ 50m未満	□ 50m以上200m未満	□ 200m以上		20	0.4	40
平均溪床勾配(平均山腹勾配)		■ 10° 以上(30° 以上)	□ 5° ～10° 未満(20～30° 未満)	□ 5° 未満(20° 未満)		25			
下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)		■ なし	□ あり(概ね満砂)	□ あり(ポケットあり)		15			
山地災害危険地区危険度		■ Aランク	□ Bランク	□ Cランク □ なし		40			
小 計						100			
計画熟度	地域からの要望	■ 地域住民活動強い	□ 市町村要望有り	□ 特に要望ない		40	0.2	15	
	事業情報の共有	□ 関係者以外にも周知	■ 関係者中心に周知	□ 特に周知していない		25			
	県民参加と協働	□ あり	■ なし			10			
	小 計					75			
費用対効果(B/C)		18.02		評価の合計				87	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成23年12月に地元住民より落石発生の連絡を受け関係機関と現地調査をしたところ、大小の転石が点在しており露頭する岩盤は浮石化し落石の発生源になっておることがわかった。下部の浸食が進行している、あるいは亀裂が多く不安定なものが多く今後の降雨、強風等により落石が再発する可能性が高い。							
	地域からの要望経緯	地元自治会長から上田市を通じて治山事業要望あり。							
	事業説明等の経緯	保安林の指定と合わせて地元説明会を開催。							
	環境・景観への配慮項目	特になし。							
	他事業・プロジェクトとの関連	発生源に関しては保安林に指定し林務で対応、住宅に近い部分は急傾斜地に指定し土木で対応(高エネルギー吸収型落石防護網)することとした。							
	特記事項	特になし。							
地域の合意形成		■ 全員賛成	□ 概ね賛成	□ 過半数賛成	□ 動向不明				
部意見	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、山腹斜面の侵食、風化により、新たな落石が発生している。下方に人家等があることから、緊急に対策を図る必要がある。			行政改革課意見	H23.12に落石が発生し、人家まで到達した。今後の豪雨等で浸食が進行した場合、下方の人家、国道への被害が懸念されることから、重要性、緊急性が高い。				